National Institute of Informatics

平成 24 年 3 月 26 日



## 国立情報学研究所が「iTunes U」に参加 「ロボットは東大に入れるか」の講演映像をはじめ、 一般向けの情報学の講座を無償公開

国立情報学研究所(以下 NII、所長:坂内 正夫)は、「iTunes® U」内に NII のページを開設し、コンテンツ配信を開始しています。

iTunes U は、iTunes® Store (http://www.apple.com/jp/itunes/) 内の専用エリアで、22 カ国 800 以上の学校・団体が講義や語学レッスン、実習やキャンパスツアーなど 35 万を超えるコンテンツを無料で配信しています。

NII のコンテンツは、昨年 12 月に開催した NII 人工頭脳プロジェクト キックオフシンポジウム「ロボットは東大に入れるか」の講演映像をはじめ、年に 8 回開催する市民講座や、オープンハウス(研究所一般公開)の講演など、主に一般の方を対象とした情報学に関する講座を公開しています。

情報学という新しい学問分野でのユニークかつオープンな研究所として、研究・教育活動、 事業、サービス、イベントなどさまざまな話題を配信し、広く社会貢献に努めてまいります。

## 配信コンテンツの特徴

NII では、唯一の情報学の学術総合研究所として、多岐にわたる情報学の研究分野を一般の方に広く知っていただこうと、無料の公開講座「市民講座」や研究所の一般公開「オープンハウス」を開催しています。

「情報学とは何か?」「その研究課題とトピックスは?」「それが何を解決するのか?」「情報学がどんな社会をもたらすのか?」を切り口に語られたこれらの講演映像を、12 月からiTunes U上で公開しています。

また、今回新たに、昨年 12 月に開催した NII 人工頭脳プロジェクト キックオフシンポジウム「ロボットは東大に入れるか」の講演映像も公開しました。

情報学は、「人と社会をつなぐ」基盤を追究する学問とも言えます。これらのコンテンツを通じて、「情報学」の営みの一端をお伝えできれば幸いです。

■NII の「iTunes U」ページへのリンクはこちら http://www.nii.ac.jp/events/itunesu/

※iTunes® U を見るためには、iTunes®が必要になります。iTunes®は Apple ウェブサイト よりダウンロードが可能です。(無料)

※iTunes は米国 Apple Inc.の商標または登録商標です。

## 配信コンテンツ例

■人工頭脳プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」(2011年)

「人工知能のグランドチャレンジ―チェス、サッカー、クイズから東大入試へ―」(松原仁)

「ロボットは東大に入れるか」プロジェクト概要説明(新井紀子)

「人工知能にとってなぜ大学入試はチャレンジングか」(稲邑哲也)

「知識を問う問題にコンピュータはどれだけ答えられるか」(宮尾祐介)

■市民講座「未来を支える情報学」(2011年度)

「量子コンピュータは本当に実現できるのか?」(山本喜久)

「大量データを小さく収納するには?」(定兼邦彦)

「感じコードの迷信を打破する!」(宮澤彰)

■SPARC Japan セミナー2011 (2011 年度)

「素粒子物理学系ジャーナルにおけるオープンアクセス化の試み」(瀧川仁)

「国際日本研究と学術デジタルコミュニケーションの現在」(友常勉)



NII iTunes U

コレクション例

<<本件に関する問い合わせ先>>

国立情報学研究所 企画推進本部 広報普及チーム(担当:飯田、岡本)

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2